

# 県士会 ニュース

No.  
210  
[2021.8]

Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

## Contents

### TOPIC

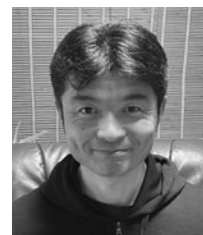
#### 3 第18回神奈川県作業療法学会 講演内容のお知らせ

- 1 巻頭言
- 2 2021年度一般社団法人 神奈川県作業療法士会第8回社員総会が開催されました
- 4 カナドラ!《県士会ニュース出張版》
- 5 公益法人格取得への道
- 5 求人案内
- 6 各部からの報告
- 7 理事会議事録
- 8 第18回神奈川県作業療法学会 事務局長挨拶
- 8 事務局からのお願い
- 8 編集後記

## 巻頭言 | 成長する神奈川県士会

### ～成長戦略プロジェクト構想～

一般社団法人神奈川県作業療法士会  
会長 神保 武則



この度、一般社団法人神奈川県作業療法士会（県士会）の会長に選任され就任することとなりました神保武則です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

まずは、私のこと、そして今後の県士会のことについて一言述べさせていただきます。

私は生まれも育ちも神奈川県です。県内の高校卒業後、4年間ほどアメリカはニューヨーク州バッファロー市に留学致しました。当時は現地に日本人は殆どいない時代。確か1ドル187円位だったと記憶しています。すっかり現地住民となり英語漬けで日本語を喋らず帰国したので、家族や友人と話す際は英語を日本語に直すというヘンテコな作業工程をしないと会話ができなかった不思議な期間もありました（今でもあります）が、アメリカの友人の勧めもあり「作業療法士」を目指す道を選びました。

作業療法士となり、今年で26年目を迎えます。要するに県士会所属26年目に県士会会長を拝命したことになります。本県士会の母体が88名の会員数で誕生してから、なんと40年目となる節目の年でもあります。現在は約2400名の会員で構成する大きな組織となり、今まで築いてきた幾重にも連なる歴史の布石がいかに素晴らしいものであったかを物語っております。初代会長は佐藤馨先生、2代会長は長谷川元先生、3代会長は渡邊慎一先生、4代会長は錠内広之先生、そして私が第5代目となります。

この神奈川県には8校の作業療法士養成校があります。年間約280人が作業療法士を目指し入学しております。新たに誕生する作業療法士たちを迎えるためにも、さらに県士会自身も組織として成長を遂げなくてはなりません。個々の頑張りだけでは限界も見えてきます。そこで、私は、会員の皆さまと共に、これからの10年後や20年後を見据え、神奈川県内で働く作業療法士の“将来のあるべき姿”を現実的に捉え、計画的に実現できるよう将来計画を立体構想化していきたいと思っております。これからは、更に県民や地域に必要とされる作業療法士の価値や意義の確立を目指しつつ、沢山の知恵と発想を豊かに巡らし成長をし

ていかなければならない時代に入ります。そのためにも県士会は、教育や学術的側面を更に研鑽追求しつつ一層の工夫を凝らし、with/after COVID-19でも作業療法士が集い語る場の体制作りを援助し、そして、JAOTやその他医療専門職団体との連携強化を図るなど、更なる開拓に向けた発想を展開すべきと考えております。

神奈川県内の作業療法士の年齢層は20歳代から45歳までが全体の80%近くを占めております。10年後の2031年度には、予測される会員数は4000名弱。そして、現在の45歳が定年を迎える20年後の2041年にはどのような状況になっているのでしょうか。今よりも更なる雇用の拡大や促進があるかどうか等の不安が先立ちます。今まさに将来的な雇用促進や拡大に向けた将来構想をより現実的に捉えるべきであり、県士会としてもその対策に向き合うことが重要となってくるでしょう。もう少し目を凝らして見ると、長期休暇や産休代替の作業療法士確保が非常に厳しい状況であることも実は一つの大きな課題です。従来通り独自の所属機関だけの力に依存することはかなりの限界があるものです。例えば、今後、女性でも働きやすい雇用と労働環境の対策とし、作業療法士の人材バンク（情報管理）等も視野に入れ「就労に関するネットワークシステム」などを構築する必要性が求められて来るでしょう。まだまだ目の前には沢山の検討すべき課題が山積しております。これらの対応はやはり会員の皆様方から頂くご意見などが大変貴重となります。是非ともご協力をお願い致します。

最後に、10年後または20年後の皆の神奈川県をイメージしてみてください。私が目指したいこの神奈川県内には多くの作業療法士を要望するニーズや雇用が溢れ、沢山の新鮮な情報が飛び交い、どこに行っても顔見知りの作業療法士が笑顔で迎えてくれる、そんな素敵な成長を遂げ続けている県士会員の姿があります。神奈川の県士会員ならではの沢山の「成長物語」を皆で創っていきましょう。『成長する神奈川県士会』の実現に向けて。今後とも宜しくお願い致します。

## 2021年度一般社団法人 神奈川県作業療法士会 第8回社員総会が開催されました

副会長 金山 桂

2021年5月23日(日)9:45～11:30、横浜YMCA学院専門学校にて第8回社員総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、会場には役員を中心に必要最小人数が集まり、希望者にはオンライン視聴を行いました。

具体的には代議員77名のうち、総会会場への参加5名、議決権行使書20通、委任状36通で成立しました。視聴者は16名でした。2年連続でのオンライン総会となりましたが、議長もオンラインでご自宅から参加、その場で質問を受け付けたりと、相互交流を意識した新しい総会となりました！

議案は第1号議案「2020年度事業報告」、第2号議案「2020年度決算報告ならびに監査報告」、第3号議案「2021年度事業計画(案)」、第4号議案「2021年度予算(案)」、第5号議案「規約の修正について」、第6号議案「役員選挙について」の6つが提案され、

賛成多数で可決されました。

また、今年度より新理事体制となり、会長に神保武則氏(北里大学病院)、副会長に田中ゆかり氏(藤沢市保健医療センター)、金山桂(介護老人保健施設千の風・川崎)、事務局長に吉本雅一氏(湘南鎌倉総合病院)が新理事の互選により決まりました。新しい理事体制は表をご覧ください。

新しい理事での、新しい県士会運営が始まります。新型コロナウイルス感染症の影響は先が見えず、今年度もオンラインを活用した企画を検討中です。12月にはオンラインと対面のハイブリット学会も予定しています！

会員そして県民の皆さまのために、代議員の方とも協力しながら、神奈川県作業療法士会を盛り上げていきましょう！！

会 長	神 保 武 則	制 度 対 策 部	野 本 義 則
副 会 長	田 中 ゆかり 金 山 桂	規 約 委 員 会	神 田 崇 央
事 務 局 長	吉 本 雅 一	ウ ェ ブ サ イ ト 管 理 委 員 会	佐 藤 範 明
財 務 部	玖 島 弘 規	学 会 評 議 委 員 会	戸 塚 香 代 子
学 術 部	佐 々 木 秀 一	公 益 法 人 化 対 策 委 員 会	澤 口 勇
教 育 部	奥 原 孝 幸	生 活 行 為 向 上 マ ネ ジ メ ン ト 推 進 委 員 会	木 村 修 介
広 報 部	佐 藤 隼	認 知 症 対 策 委 員 会	望 月 強 併
福 利 部	金 山 桂 ※兼任	地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム 推 進 委 員 会	西 川 航 平
地 域 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部	遠 藤 陵 晃	エ リ ア 化 推 進 委 員 会	大 郷 和 成
監 事	錠 内 広 之	監 事	野 々 垣 睦 美

## 第18回神奈川県作業療法学会 講演内容のお知らせ

第18回神奈川県作業療法学会 事務局長 冨永 渉

今回の学会は、4月の県士会ニュースで学会長からのご挨拶にもありましたように、パシフィコ横浜での対面とオンラインでのWEB学会のハイブリッドで準備を進めておりました。しかし、未だ終息の兆しが見えないコロナ禍の現状を鑑みて、対面での開催を断念し12月4日(土)と5日(日)の2日に渡り、WEB学会のみで開催することとなりました。学会実行委員会でも慎重な議論を重ねた上での苦渋の決断でしたが、県学会として初のオンライン学会になりますので、各委員は気持ちを新たに従来の対面での学会と比べても遜色ない充実した学会になるようWEB学会の準備を進めております。一般演題の登録は6月21日(月)で締め切り、当初の想定を上回る50件近くの登録がございました。今回の学会では新たな取り組みとして若手の発表のために様々な発表支援制度も用意し、次世代を担う若手の育成という県士会の使命も継承し、内容が充実するように努めております。演題登録されていない方もぜひ当日ご参加いただき、作業療法の「多様性」について再考するきっかけにいただければと思います。プログラムの詳細や学会参加登録については、近日中に学会ホームページで告知いたしますので、暫くお待ちください。各講演ならびにシンポジウムの内容については、学会ホームページのブログでも公開しておりますが、決定した内容を改めてお知らせさせていただきます。

### ● 特別講演

「多様なニーズと向き合う～終末期の現場から患者は何を願うのか～」

国際医療福祉大学 医学部 教授 医師  
荻野 美恵子 先生

### ● 教育講演

#### 教育講演 1

「作業療法士の power tool としての作業療法カウンセリング-多様性と向き合う作業療法を支える基盤として-」

東京都立大学 健康福祉学部作業療法学科 教授  
大嶋 伸雄 先生

#### 教育講演 2

「子どもの多様性を育む保育環境のアフォーダンス-生態心理学の視点-」

聖隷クリストファー大学 社会福祉学部  
こども教育福祉学科 准教授  
細田 直哉 先生 (生態心理学者)

### 教育講演 3

「多様な患者のニーズと向き合うリハエンジニアの役割-3Dプリンタ等を活用した支援-」

神奈川県リハビリテーション病院  
リハビリテーション工学科 エンジニア  
松田 健太 先生

### ● シンポジウム

#### シンポジウム 1

「多様な学生にどのように向き合えば良いか」

シンポジスト  
鈴木 憲雄 先生  
(昭和大学保健医療学部作業療法学科 教授)

高橋 香代子 先生  
(北里大学医療衛生学部作業療法学科 教授)

坂本 安令 先生  
(横浜市大付属市民総合医療センター)

#### シンポジウム 2

「患者に触れることによる多様な気づきと治療戦略」

シンポジスト  
岸本 光夫 先生  
(重症児医療施設ソレイユ川崎)

玉垣 努 先生  
(神奈川県立保健福祉大学 教授)

松田 哲也 先生  
(JCHO 湯河原病院)

事務局長を務めます私からのコメントを裏表紙に掲載させて頂きました。こちらも是非ご覧下さい。

### 第18回学会ホームページ

<https://kana-ot.jp/wpb/kotc18th/>

こちらから Facebook、Instagram、Twitter のリンクに飛ぶことが出来ます。またお問い合わせフォームも上記からご用意しています。



## カナドラ！《県士会ニュース出張版》

ブログ版カナドラはこちら ▶



神奈川県の自動車運転に関するアンケートはこちら ▶



## ～ 自動車運転支援に関連する書籍やパンフレット等の紹介 ～

制度対策部自動車運転班のブログ「カナドラ！」(上記 URL よりブログチェックもお願いします!) の県士会ニュース出張版第 4 回になります。今回は自動車運転支援に関わる書籍紹介と、最近発行されたパンフレットやウェブサイトの紹介をさせていただきます。

近年では様々な書籍が発行されていますが、法律や評価内容、教習所連携等についてもまとめて書かれているものが手元にあると確認しやすいです。OT 協会運転と作業療法委員会(以下、委員会)の藤田佳男先生と澤田辰徳先生が編集された『作業療法とドライブマネジメント』(藤田佳男 澤田辰徳 編集、文光堂)や、内容を分けて3冊に分冊されている『高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション』(蜂須賀研二 編著、金芳堂)が参考になります。この2冊は上記した内容以外にも、医療機関での取り組み紹介や疾患毎の特徴なども書かれています。情報量は限られていますが、OT 協会からも『作業療法マニュアル 53 認知機能障害に対する自動車運転支援』が発行されています。

パンフレットとしては OT 協会委員会が発行したばかりの『押さえておきたい! 運転再開支援の基礎』があります。このパンフレットはチェック項目を確認しながらその段階で押さえるべき・確認すべき内容が書かれていますので、順を追って説明する際にも助けになります。これから自動車運転支援について調べよう・考えようという方はもちろん、すでに支援体制を有している病院での再確認にも有効かと思えます。こちらはウェブサイトからダウンロードでき、冊子のようにまとめることもできます。



<https://www.jaot.or.jp/files/page/draive/draive-untensaikaisiennokiso.pdf>

### 制度対策部自動車運転班 渡邊 隼人

また書籍とは異なりますが、日本自動車連盟(JAF)のホームページ内に「エイジド・ドライバー総合応援サイト」というページが公開されており、この中に「高齢運転者向けウェブトレーニング」や「座ってできるドライビングストレッチ」があります。ドライビングストレッチは OT 協会委員会が協力したものになっており、動画や写真を確認しながら座ったままできるストレッチの紹介となっています。ウェブトレーニングは認知・目・耳の機能チェックをウェブ上でできる他、それぞれの自動車運転に関わる機能をウェブ上でトレーニングできるようになっています。パソコンやタブレットがあればその場で使用することができますので、高齢運転者の方に一度体験して頂くのも良いかもしれません。

最後に、毎掲載でのお知らせです。神奈川県内の自動車運転支援実施状況把握のためのアンケートを継続的に実施しています。ご協力をお願いいたします!

※このアンケートは自動車運転支援を実施していないに関わらずお答えいただけます。詳細は県士会ウェブサイトをご確認下さい。またアンケートは上記 QR コードからもアクセス可能です。収集させていただいた情報は施設が特定できない形で集計し、今後企画検討している勉強会等で状況をお伝えしていく予定です。



JAF エイジド・ドライバー総合応援サイト  
(高齢運転者向けウェブトレーニング)  
<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/online-training/senior>



# 公益法人格取得への道

～「事業区分」とは何か、そこから見えてくる～  
当会の未来の姿

## 公益法人化対策委員会 澤口 勇

「公益目的事業」の定義（公益法人認定法第2条第4号）は「学術、技芸、慈善その他の公益に関する別表各号に掲げる種類の事業であって（以下、Aと記す）、不特定多数かつ多数の者の利益の増進に寄与するものという（以下、Bと記す）」とあります。前号ではAの中の「別表」に掲げられている公益目的事業（23事業）についてご紹介しました。

さて、今号のお話しを分かりやすくするために、この紙面上に限り、今後当会が担うことが必要であろう事業を私がこの23事業の中から仮に選択させて頂きますと（この選択作業は公益法人化には必ず必要な作業）、三「障害者若しくは生活困窮者又は事故、災害若しくは犯罪による被害者の支援を目的とする事業」、四「高齢者の福祉の増進を目的とする事業」、五「勤労意欲のある者に対する就労の支援を目的とする事業」、六「公衆衛生の向上を目的とする事業」、七「児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業」などになるでしょうか。23事業のうち私（当会）は今、5つを選びました。

ではここからが本号の本論です。これら私（当会）が選んだ5つの事業が確かにBとなっているか、認定法では法人が行う多種多様な事業の中から典型的な事業について17の事業区分（注釈：Aを果たすためのB「手段」と思ってください）を挙げ、事業名の例まで記載され整理されています。以下、17の「事業区分」をご紹介します。

1 検査検定（検査・検定、認証）、2 資格付与（技能検定、技術検定、資格認定）、3 講座・セミナー・育成（講座、講習、セミナー、シンポジウム、人材育成、育成、研修会、学術集会、学術講演会）、4 体験活動等（イベント、体験、体験教室、ツアー、観察会）、5 相談・助言（相談、相談対応、相談会、指導、コンサルタント、助言、苦情処理）、（以下、紙面の都合で区分のみ掲載）、6 調査・資料収集、7 技術開発・研究開発、8 キャンペーン・〇〇月間、9 展示会・〇〇ショー、10 博物館等の展示、11 施設の貸与、12 資金貸付・債務保証等、13 助成（応募型）、14 表彰・コンクール、15 競技会、16

自主公演、17 主催公演（詳細は、ネット等で「公益法人 事業区分」などと検索して下さい）

いかがでしょうか・・・お読み頂き、Aを果たすための具体的な手段「B」のイメージが湧いてきましたでしょうか？ポイントは「AかつB」となっているか否かです。そうでなければ「公益目的事業」と認定されません。私が先ほど仮に選んだ23事業から5つの事業例で言えば、「A／三の事業」に該当する「B／事業区分」として「3講座（リハビリ講座）」「5相談（OT相談会）」などができるでしょうか。また「A／四の事業」に該当する「B／事業区分」として「3講座（フレイル予防講座）」「8〇〇月間（OT体験デー）」「15競技会（風船バレー大会、絵画展など）」などができますでしょうか。念のため重ねて言いますが、当会としての23事業やそれに準ずる事業区分についてはまだ決まっておられません。今回は本号で説明をしやすいするために私が掲げた、あくまでも一例と捉えて下さい。

現在、当会が予算執行する事業費の大半は「会員向け（共益事業という）の研修会活動」が主体です。これまで作業療法士の職域も医療現場が中心でしたので、各会員が当会の研修会などで研鑽した作業療法を、各会員が所属する病院などに通院される市民に対し県士会で学んだ作業療法を施すことで、県民の健康増進に当会も重責を担って参りましたが、昨今の作業療法の対象者は医療分野に限らず福祉や教育、就労、児童、地域、生活困窮者や病気の予防の範囲まで、作業療法を必要とされる市民の領域はより拡大してきました。よって当会としても県内くまなく、また全世代に対し作業療法サービスを届ける必要があり、共益事業だけでは当会の事業目的達成に限界が出てきたのかもしれない。

次号ではさらにBについて、他県士会で行われている公益目的事業などもご紹介しながら皆さんと共に、ここ神奈川県における当会がすべき事業とは何か、その一助と一緒に考えていきたいと思います。

## 求人案内 作業療法士募集

**募集人員：**常勤2名  
**応募資格：**作業療法士有資格者  
**施設概要：**療養病棟216床、精神科病棟256床  
**業務内容：**入院・外来患者様へのリハビリテーション（身障・精神・身体・老年期・老健併設など）  
**給 与：**291,170円（諸手当含む）  
**時 間：**9:00～17:00  
**休 日：**隔週休2日、祝日、夏季、年末年始、有給休暇20日  
**待 遇：**賞与年2回（前年実績4か月）社会保険完備、退職金制度、5・10年勤続海外旅行  
**現スタッフ：**OT12名 PT7名 ST1名  
**その他：**学会・研修会出張奨励ほか

自然豊かな環境で、“のびのび”  
“しっかりと”働いてみませんか！

**交 通：**JR中央線藤野駅下車 専用シャトルバス15分  
マイカー通勤可（無料駐車場完備）  
**応 募：**電話連絡の上、履歴書持参でお越し下さい。  
施設見学も随時お受けします。お気軽にご連絡下さい。

## 医療法人社団 清伸会 ふじの温泉病院

〒252-0186 神奈川県相模原市緑区牧野8147-2  
TEL: 042 (689) 2321 担当/山本  
FAX: 042 (689) 2325  
Email: j-yamamoto@fujino-hp.or.jp  
URL: http://www.fujino-hp.or.jp

# 各部からの報告

## ▶ 教育部

(文責：奥原 孝幸)

連載！「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」★県士会ウェブサイトから質問ができます！

このコーナーは、県士会教育部関連の情報を毎号ご案内しています。教育部はOT協会の生涯教育制度に関する事業を主に展開しています。

**生涯教育受講記録やポイントシールは使用しなくなっています。どうなるの？**

詳細は、協会ホームページの教育部の「生涯教育」のページに掲載されています。一度覗訪ねてみてください。県士会での手続きに関しては県士会ウェブサイトの「手帳移行に関する準備」のページをご参照ください。とは言っても、サイトのどこに書いてあるんだ?! という方も多いと思います。ポータルサイトって何だ? という方もいます。不明なことは、とにかくお問い合わせください。以下に要点を箇条書きにします。

- ・2020年3月までは手帳とポイントシールを使用し、2020年4月以降は生涯教育手帳とポイントシールは使用しない。
- ・これまで自己管理だった受講記録等は協会ホームページ内の会員ポータルサイトにて管理する。そのために現在の手帳内容を会員ポータルサイトに移行する手続きが必要（協会ホームページ）。
- ・受講記録を会員ポータルサイト内に移行する手続き期間は、本年9月まで（延長されています）。
- ・協会への移行手続きの前に、2020年3月までの研

修会等への参加証明書や県士会裁量ポイントは県士会にて押印の手続きが必要。

- ・2020年度分の県士会裁量ポイントに関しては県士会にて協会へ登録申請します。
- ・今年度のポイント付与は、県士会主催の場合、県士会が協会に登録し、SIG 団体主催の場合には、各会員が参加証を会員ポータルサイトに登録します。

**生涯教育制度に関する研修会開催に関して**

先日神奈川県士会総会にて、教育部事業計画が承認されました。計画通り現職者共通研修、現職者選択研修、臨床実習指導者講習会、事例報告登録制度研修会など、コロナ禍でも開催します！概ねウェブ研修会となりますが、専門作業療法士、認定作業療法士を目指していただくべく便宜を図るように計画しています。

詳細は、県士会ウェブサイトに掲載しますので、注意しててください。サイト更新時に届く「kanaからの手紙」（ウェブサイトから申し込みます）に登録すると更新時もちろん確認、申し込みができます。

ご不明の点はどんなことでもご連絡ください。

教育部 奥原 孝幸（神奈川県立保健福祉大学）

046-828-2738（直）、okuhara-sp8@kuhs.ac.jp

県士会ウェブサイトからも質問ができます。

## ▶ ウェブサイト管理委員会

(文責：佐藤 範明)

県士会サイト紹介 & 研修会情報・求人情報案内

県士会サイトは「みて役立つ！すぐ役立つ！まずはクリック！県士会サイト」のキャッチフレーズのもと、いつでも・だれでも・どこでも、県士会情報・OT情報を閲覧できる県士会データベースとして整備をしています。県士会のお知らせをはじめ、日々の臨床等にも役立つコンテンツも豊富です。また、県士会サイトでは神奈川県内の求人情報、神奈川県内外の研修会情報の発信を行っており、メーリングリスト・

Twitter・Facebook を登録することで更新情報をいち早く受取ることが可能です。

**以下のQRコードから各種メディアの登録が行えます。**

現在、コロナ禍でソーシャルディスタンスが求められ、対面が難しい中、ネットやオンラインを上手に活用しましょう。ウェブサイト管理委員会としても皆様にとって役に立つ県士会サイトの運営に努めてまいります。是非ご活用いただければ幸いです。

電子メール（メールマガジン）  
Kanaからの手紙 ▶



Twitter ▶



Facebook ▶



# 理事会議事録

## ★ 2021 年度 4 月 22 日 理事会議事録案

1. 日時：2021 年 4 月 22 日（木）19：00～20：40
2. 場所：ウェブ開催のため各自宅・職場
3. 参加理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・玖島・野本・遠藤・神田・佐藤範・戸塚・澤口・佐藤良・西川・大郷（18 名）  
参加監事：田中・鶴見（2 名）  
その他：池田選挙管理委員長・望月氏・佐藤隼氏（3 名）

### 4. 議決事項

#### (1) オブザーバー参加について

今回の理事会には望月氏と佐藤氏が参加した。会長よりオブザーバー参加の規約がないので、総会でのオブザーバー参加に準じて行ったこと、二人から希望があった経緯を伝え、参加を議長（会長）判断で許可したことを報告した。

#### (2) 選挙管理委員会

##### 1) 臨時理事会での互選方法について

会長 1 名の選出、副会長 2 名の選出、事務局長 1 名の選出を行うにあたり、選挙管理委員を中心に執り行う。その方法について提案があった。

- ・ 2021・2022 年度の役員選挙は、Zoom を使用しオンラインでの開催とする。

- ・ 三役の選出において、立候補者が不在もしくは定数を満たさない場合、三役の候補者を理事が推薦する。

- ・ 三役の選出において、立候補者および、三役の候補者として推薦を受けた理事が定数よりも多かった場合は投票により選出する。

- ・ 投票は、Zoom の投票機能を用い、操作は選挙管理委員長が行う。

- ・ 得票数が同数の場合、「くじ引き」を行う。ただし、オンラインでの開催となったことから、オンラインの状況下でもくじ引きに類似した選出方法となるよう変更した。

#### (3) 事務局

##### 1) 2021 年度総会（2021 年 5 月 23 日開催）について

1 - 1) 総会会場は集まる人数が 10 名程度（会長、副会長 2 名、事務局長、財務理事、規約理事、議長、選挙管理委員長、議事運営委員 1 - 2 名を想定。）になることから、横浜 YMCA 学院専門学校を会場とする。

##### 1 - 2) 総会運営方法

まん延防止等重点措置が発令し、今後緊急事態宣言も出る可能性も否めないため、昨年同様、オンライン開催とする。

##### 2) 退会に関する手続きトラブルについて

4 月に会費の引き落としがあり、電話で退会連絡をしたはず等の行き違いの連絡が数件寄せられている。都度対応するとともに、退会・変更手続きに関する周知媒体の検討や問い合わせ先メールアドレスを会員向けと対外向けと分けるといった対応を行っていく。

#### (4) 財務部

1) 2020 年度期末監査 2021 年 4 月 18 日実施  
コロナ禍で活動が思うように行えない 1 年間だったが、その中でも活動していただいた部署では概ね適正に財務手続き処理をしていた。監査報告については総会議案書に掲載。

#### (5) 学術部

1) 新人でもわかる脳卒中患者の作業療法の実践  
6 月 13 日（日）10：00～12：10（10：00～11：30 学術部研修会  
11：30～12：10 福利部新人オリエンテーション）

講師：渡部喬之氏（昭和大学横浜市北部病院）

2) 2021 年度の研究助成事業の募集開始について  
研究助成事業概要の変更を行い、5 月 1 日から募集を行う。例年通り、7 年目以上の会員に対する研究Ⅰと 7 年目以下の会員に対する研究Ⅱの 2 課題とする。

#### (6) 広報部

1) 対外広報班  
これまでの作業療法を知ってほしい県民のみではなく、「県士会活動を知ってほしい非会員・作業療法学生」も加えて広報活動していく。

#### (7) 学会評議委員会

1) 2022 年度開催臨床大会の開催について  
・ 大会長はその年の県士会会長になる。  
・ 新たに臨床大会の推進委員会（実行委員会）を学会評議委員会内の班として立ち上げる。  
・ 2022 年度及び 2024 年度開催の臨床大会を持ってマニュアルを整備する。  
⇒承認。上記条件で開催予定。

#### (8) 地域包括ケアシステム推進委員会

1) 2020 年度横浜市地域リハビリテーション活動支援事業について  
・ 2020 年度全体で 210 回予定、OT 派遣希望は 39 回当初予定。  
・ 6 月、7 月実施分については、派遣講師を調整開始。  
・ 8 月以降については、派遣可否の回答。  
・ 5 月に横浜市と事務検討会予定。

以上（文責：金山）





## 第18回神奈川県作業療法学会 事務局長 富永 渉

国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科の富永渉です。この度、第18回神奈川県作業療法学会で事務局長を拝命し、現在学会準備全般に関わらせていただいております。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、ニュース6月号では12月4日(土)にハイブリッドでの開催とお知らせいたしました。現在の感染症拡大を考慮し、WEB開催に変更いたしました。そこで学会のメインイベントは、当初より予定しておりました12月4日(土)と、加えて5日(日)に開催する予定です。WEB学会ではありますが、学会の臨場感をできるだけお伝えできるように、特別講演とシンポジウムはこの2日間でライブ配信を予定しております。また、教育講演やE-レクチャー、一般演題はオンデマンドでの配信とし、学会当日までの気分を高めていくために、教育講演とE-レクチャーは11月頃から順次配信できるよう準備しております。一般演題の発表については、昨年と同様に日本作業療法学会同様、音声付きプレゼンテーションを配信するように予定しておりましたが、「若手の発表の機会」としての県学会の役割を考慮し、現在も事務局を中心として発表方法に関して検討を重ねて

おります。

現在学会ホームページ(H/P)のブログで公開しておりますが、ご講演をいただく先生方も決定し、多彩な内容が決定いたしました。詳細は3頁に記載しておりますので是非ご覧ください、ご参加の際の参考になさってください。また、内容はおよそ決定しておりますが、開催方法などの詳細については今後順次決定していく予定です。会員の皆様にご参加を検討していただくためにも、可能な限り早くお知らせできるよう、実行委員会も準備を日々進めております。順次ご案内させていただく内容については、是非学会H/Pを訪れてご確認いただければと思います。また、Facebook、Twitter、InstagramといったSNSでもH/Pの更新内容をお知らせしておりますので、是非フォローをお願いします。

臨床で従事されている皆様におかれましては、長期に渡るCOVID-19への対応など、日々ご苦勞されていることと思いますが、この苦難を乗り越えて、12月にWEB会場で皆様に会えることを楽しみに、学会長を中心に学会の準備を進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 事務局からの お願い

- **休会される方** 来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日**(末日消印有効)までに①『**休会届**』と②『**証明書**』を**郵送**でご提出願います。(FAX不可)。
- **退会される方** 年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『**退会届**』を①**郵送**又は②**FAX**にてご提出願います。(上記日必着)。
- **届出内容を変更される方** 住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『**変更届**』を①**郵送**又は②**FAX**にてご提出願います。(随時受付)

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ**公式ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までに提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落としとなり、返金を致しかねます。

### 後編 記集

広報部の理事が新しく佐藤理事が就任されました。今後もニュース班では神奈川県士会員の皆様にわかりやすく多くの事をお伝えできればと考えていますので、何卒よろしくお願い致します。(山岡)

## 一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (210号) 2021年7月発行(年3回発行)

発行責任者 神保 武則  
 編集責任者 佐藤 隼  
 編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)  
 山岡 光(湘南慶育病院) / 佐藤 愛(悠の木株式会社) / 安田 優子(横浜旭中央総合病院)  
 丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院) / 松井 洋鷹(浏野辺総合病院)  
 碓屋 瑛理(佐藤病院) / 岩居 洋輝(佐藤病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所  
 事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号  
 TEL/FAX : 045-663-5997  
 月火水木金 10:00~15:00  
 メールアドレス : jim@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト  
<https://kana-ot.jp> → 作業療法 神奈川県 検索

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>  
 Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>

